

2026年度 清泉大学

人間学部 人文社会科学部 看護学部

総合型選抜〈得意教科PR方式〉

「国語」

*試験終了後、この問題用紙は回収いたします。

第1問

問1 次のア～オの文の傍線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ア 木製のホンダナを買う。
- イ カクウの人物を設定する。
- ウ 国の将来をユウリヨする。
- エ 外壁にペンキを又る。
- オ 敵を見事にアザムく。

問2 次のア～オの文の傍線部の漢字をひらがなに直しなさい。

- ア 進捗状況を報告する。
- イ 遜色ない出来ばえだ。
- ウ 含羞の色を浮かべる。
- エ 費用は寄付金で賄う。
- オ 悪口に気持ちが萎える。

問3 次の熟語の対義語として最も適当なものを後の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

「統合」

- ① 群雄
- ② 精選
- ③ 譲渡
- ④ 破壊
- ⑤ 分割

問4 次の熟語の類義語として最も適当なものを後の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

「激励」

- ① 鼓舞
- ② 推奨
- ③ 表彰
- ④ 称赞
- ⑤ 報償

問5 次の①～⑤のうちから尊敬語として適切でないものを一つ選び、番号で答えなさい。

- ① おいでになる
- ② 拝読なさる
- ③ 召し上がる
- ④ おぼし召す
- ⑤ お聞きになる

問6 次の①～⑤の故事成語のうちから「負け惜しみの強いこと」を意味するものを一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 隴を得て蜀を望むろうを得てしよくを望む
- ② 洛陽の紙価を貴むらくやうのしひをたかを貴む
- ③ 先ず隗より始めよまづかいより始めよ
- ④ 石に漱ぎ流れに枕すいしにくちすすぎ流れにまくら
- ⑤ 人間万事塞翁が馬

問7 次の①～⑤の四字熟語のうちから正しく表記されているものを一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 白砂聖松
- ② 質実剛堅
- ③ 神出鬼没
- ④ 驚天動知
- ⑤ 換骨奪隊

問8 次の文には含まれない品詞を後の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

危ない場所なのでしばらく立ち入らないください。

- ① 動詞
- ② 形容詞
- ③ 形容動詞
- ④ 副詞
- ⑤ 助動詞

第2問

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の観点から公表していません

著作権の観点から公表していません

著作権の観点から公表していません

(鎌田実著・遠藤薫編 『持続可能な幸福社会へのアプローチ』所収 原文の表記を一部変更した。)

- 注1 フレイル：加齢により心身が老い衰えた状態。
- 注2 カーボンニュートラル：温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。

注3 e-fuel：水素と二酸化炭素を原材料として製造する石油代替燃料。

注4 緑ナンバー：事業用の乗用車や貨物車を意味する。

注5 自家用有償運送制度：バスやタクシーが運行されていない過疎地域で、住民の日常生活における移動手段を確保するために、登録を受けた市町村やNPOなどが自家用車を用いて有償で運送するサービス。

注6 IMTS：インテリジェント・マルチモード・トランジット・システムの略称で、圧縮天然ガスを使用した大型低公害バスが無線通信によって電子的に編成を組みながら自動運転により三台で隊列走行を行った。

注7 米国防高研：米国防高等研究計画局。

注8 官民ITS構想：自動運転にかかわる日本政府全体の戦略。

注9 米国SAE：米自動車技術者協会。

問1 空欄（ア）～（ウ）に入る言葉として最も適当なものを次の①～⑦のうちから一つずつ選び、番号で答えなさい。

- ① あるいは ② さらに ③ 従って ④ すなわち ⑤ それでも ⑥ ところで ⑦ なぜなら

問2 傍線部A「公共交通（鉄道・バス・タクシー）」における課題のうち、その解決が急がれるため筆者が文章中で繰り返し言及しているものを次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 大都市と地方都市や過疎地域の格差が大きいこと。
② 現在のみならず、将来もドライバーが不足すること。
③ 高齢ドライバーが多いため事故の割合が高いこと。
④ カーボンニュートラル燃料の使用が迫られていること。
⑤ 斜陽産業のため利用料金は高くなる一方であること。

問3 空欄 B に入るものとして最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 収益性と達成感
- ② 可動性と親近感
- ③ 倫理性と幸福感
- ④ 安全性と充足感
- ⑤ 利便性とお得感

問4 空欄 C に入るものとして最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 主体的
- ② 効率的
- ③ 互惠的
- ④ 人道的
- ⑤ 全国的

問5 破線で囲った段落に関する説明として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 日本における自動運転の開発と政府の取り組みを時系列に沿って紹介している。
- ② 自動運転の開発を牽引する米国の動向が日本に与えてきた影響を評価している。
- ③ 自動運転の導入に日本が米国より大きく遅れてしまった理由を分析している。
- ④ 米国の規格が自動運転技術の世界標準になりつつある現状を報告している。
- ⑤ 世界各国で自動運転技術の開発競争が激化することの利益と損失を考察している。

問6 文章にタイトルをつける場合、最も適当だと考えられるものを次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- ① オンデマンド交通の革新的な技術
- ② 新しく安価なモビリティサービス
- ③ 自動運転システムに必要な冗長性
- ④ 人口減少社会におけるモビリティ
- ⑤ 高齢者が輝く持続可能な幸福社会

問7 文章の内容と合致しないものを次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 二十一世紀になって、地方のバスやタクシーといった公共交通の輸送人員は下がり続けているが、都市部では上昇に転じている。
- ② 今後、車の維持費は増大していくと思われるため、日本人の所得が上昇しないとモビリティの分野に大きなインパクトを与えかねない。
- ③ 少ない需要に対してもともと消極的に対応していたデマンドバスは、フレキシブルな運行により積極的な対応へと変化してきている。
- ④ 移動の足の確保が困難になり地域に出かける人口が減少していくと、地域の活性化が下がり地域経済への影響も心配される。
- ⑤ 自動運行装置に要求される安全確保に対する高い性能や信頼性を満たしうる車両は、日本にはまだまだ少ないのが実情である。

第3問

次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

著作権の観点から公表していません

著作権の観点から公表していません

著作権の観点から公表していません

著作権の観点から公表していません

(小池水音 「二度目の海」 『あなたの名』所収)

注1 サナトリウム：長期療養を必要とする疾患を対象とする療養所。かつては治療が困難であった結核患者を対象としたものが日本にも多かった。

注2 シノプシス：映画のあらすじ。

注3 伊豆高原：静岡県伊東市にある。

注4 オーベルジュ：宿泊施設に備えたレストラン。

注5 アラカルト：好みの料理を一品ずつ自由に選んで注文すること。

問1 傍線部(a)・(b)の本文中における意味として最も適当なものを次の各群の①～⑤のうちから一つずつ選び、番号で答えなさい。

(a) 来歴

- ① ある人物が築き上げた偉大な業績
- ② 作品に込められる同時代の意義
- ③ ある人物が経験してきたものごと
- ④ 鑑賞者が作品から読み取る主題
- ⑤ ある人物が更生を遂げられた契機

(b) プロマイド

- ① 映画や舞台の台本
- ② 人物の肖像写真
- ③ 記念品や贈答品
- ④ 往時の映画鑑賞券
- ⑤ サイン入り色紙

問2 空欄(ア)～(ウ)に入る言葉として最も適当なものを次の①～⑦のうちから一つずつ選び、番号で答えなさい。

- ① いっしか
- ② かえって
- ③ いちばん
- ④ まだまだ
- ⑤ すぐさま
- ⑥ ときおり
- ⑦ はじめて

問3 傍線部A「光莉さんがそう呟くたび祖父の落胆の色が濃くなってゆく」とあるが、その理由として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 光莉さんが、五十五年前の満さんの生活について問われても、その詳細を答えてくれないことが理解できなかったから。
- ② 九十歳とはいえわずか三時間の対話で光莉さんが疲れてしまっって、これまで準備してきた時間がすべて無駄になったから。
- ③ ひとつの景色が鍵となって心を開いて本心を打ち明けてくれることなど、そう簡単に起きはしないことを思い知ったから。
- ④ これから映画に取り組むために満さんのご家族にたいして済ますべき挨拶が、必ずしも快くは受け入れられなかったから。
- ⑤ さまざまな資料を収集して臨んだ二度目の対話なのに、満さんの日常の具体的な記憶は、やはり聞き出せなかったから。

問 4 傍線部B「一度目は彼女が娘とふたりで暮らすマンションの入室を訪れて、にぎやかに思い出話を交わした」とあるが、このときの説明として**適当でないもの**を次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 満さんについて多くを語り合える相手はもうほとんどいなかったため、光莉さんも祖父もにぎやかに思い出話を交わした。
- ② 満さんが主演して祖父が監督した映画を、満さんが生きたかもしれないもう一つの人生をみたようだったと、光莉さんは評した。
- ③ 数十年ぶりに再会した光莉さんと祖父が語ることは聞いたことのない話ばかりだと、光莉さんの娘さんは非常に驚いていた。
- ④ 光莉さんと娘さんのやりとりや暮らしぶりから、光莉さんは豊かで穏やかな年月を重ねてきたのだろうと「僕」にはおもえた。
- ⑤ 光莉さんと娘さん、祖父と「僕」は心温まる時間を過ごせたことを感謝し合い、全員が事前の目的を完遂して和やかに解散した。

問 5 空欄 C に入るものとして最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 構想
- ② 粗筋
- ③ 発案
- ④ 概念
- ⑤ 理念

問 6 空欄 D に入るものとして最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 祖父の厳命だった
- ② 気が重かった
- ③ 無意味な作業だった
- ④ 準備を要した
- ⑤ 悲しかった

問7 文章の内容と合致するものを次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 光莉さんの受け答えは始終はつきりしていて、九十歳の現在でも明晰な思考と記憶を保っていることを、祖父も「僕」も認識した。
- ② テレビで平凡極まりない旅番組やドキュメンタリーを撮る「僕」の仕事は、映画に比べて下らないと祖父はひどく嫌っていた。
- ③ 家賃や食費を含む生活費は祖父に依存できるという一点において、反発を抑えつつ「僕」は祖父の仕事を手伝うことにした。
- ④ 祖父にとって大きな意味を持つ満さんに関する記憶の断片が光莉さんのなかに必ず残っているにちがいないと、祖父は確信していた。
- ⑤ 祖父はホテルで光莉さんと対話したあと、満さんへの怒りやいらだちを紛らわすため、映画に関係のない話題ばかりを饒舌に語った。